

意見交換記録

(A) グループ

発言者/ 応答者	
意見①	<p>スーパーエコスクール事業について 情報が市民に対して公開されていない。市のHPで探してみても情報が分かりづらい。(HPが見づらい) 国の事業ありきで話が進んでいるようで、生徒たちが犠牲にならないか心配。効果を確認するためや数値などの実証実験のために、冷暖房を入れないなど生徒が我慢することはないかなど、現時点で保護者から心配の声が出ている。また子ども達が犠牲にならないようにしっかりと議会にチェックをしてもらいたい。</p> <p>⇒議会として行政に対し、所管事項の調査研究を行うなど監視機能を高めていく。</p>
意見②	<p>特色を活かした教育について 北中学校の工事を進める際にクジラの化石が発掘された。環境教育を推進するのであればそういった地域の特性を活かしてほしい。</p> <p>部活動に特色を感じることができない。スポーツ部は同じ部活ばかりで魅力がない。陸上、剣道、野球、ソフト、サッカー、卓球やバレーボールなどその地域独自の部活動があってもよい。土日に施設を活用できる利点もある。化石のまちならではの考古生物学部、サイエンスワールドは活かした科学(化学)部、半原文楽や相生座などの伝統芸能を学ぶ芸能部などあった方がよい。</p> <p>化石が出たのであればそのレプリカでも良いので校舎のその記録を北中学校に残すべきではないか。</p> <p>⇒議会としても調査研究を行い、様々な形で提言していきたい。</p>
意見③	<p>小学校と中学校の学力の差について 瑞浪市内中学校の学力レベルは県内でも高いと聞いているが、小学校の学力レベルはどれくらいか。稲津ではPTA会費から小学校のテスト費用を出している。教育のまちであるなら小学校低学年から市が負担してテストを導入すべきでは。</p> <p>⇒全国学力学習状況調査の結果は、毎年12月前後に市のHPで公開されています。</p> <p>⇒本市では小学5年生と中学2年生の学力テストを市費で実施しています。</p>
意見④	<p>教育のまちみずなみについて 地域を子ども達に知ってもらうためにコミュニティースクールを導入すべき。</p> <p>⇒学校毎に「学校評議会」を設置し、保護者や地域の意見を聞いている。</p> <p>議会としてコミュニティースクールの導入について教育委員会へ働きかける。</p>
意見⑤	<p>スーパーエコスクールについて スーパーエコスクールは何をするのか。</p> <p>⇒文部科学省が行うスーパーエコスクール実証事業(地球温暖化対策として学校施設の環境への負担を低減するとともに環境教育を推進)に瑞浪市(学校)が参加。</p> <p>本事業は公立学校建設における省エネ・畜エネの技術を組み合わせ年間のエネルギー消費を実質上ゼロとするための実証を行うもので、これまでに全国で6校がこの実証事業に参加しており、瑞浪北中学校が7校目となる。</p>
意見⑥	<p>教育のまちみずなみについて 今後の陶、日吉、大湫などのクラブ活動への支援はどうなるのか。現在、中学生はスクールバスなどで通学している。小学生はどうしたらよいのか。東鉄、親の負担で行かせるのか。</p> <p>教育のまちみずなみというなら、すべての地域で平等に教育を受けることができるまちにしてほしい。</p> <p>⇒現在、遠距離通学の対象となる児童生徒については、規程に基づき通学費を助成している。</p>

(B) グループ

発言者/ 応答者	
意見①	<p>視察で成果のあったものはどれか。 ⇒三条市では小中一貫 中学校の一年生ギャップ(不登校)への施策を視察提案はしているがすぐに実現できるものではない。若者サポートについては乳幼児から自立に至るまで切れ目のない必要な支援が得られる支援体制の構築について学んできた。 ⇒執行部に対して提案はしているが直接結びつくことは少ない。まずは視察をすることから。教育費無料については今後政府の施策に入ってくるのではないかと。 ⇒通学費無料は自転車通学者のヘルメットの無料支給等を行っていた。</p>
意見②	<p>統合についてはさみしいという声を聞くが、教育環境が良くなることを期待している。 廃校の利用について(体育館やグラウンド) 地域の利用はできないか。 ⇒瑞浪市では企業誘致を優先に考えているが、誘致企業が決定したわけではない。 ⇒陶小学校では全面使用禁止になるが、地域にとっては体育館やグラウンドの使用を望む声もある。 今後地域の思いを受け入れてもらえる方法を模索しなければならない。</p>
意見③	<p>各小学校の来年度の入学児童数を発表後、いずれ小学校の統合の話も出てくると思うがどう思うか。 ⇒個人を尊重する中学校と違い、小学校は地域の中で育てることが大切であり地域とともにあるべき。小学校は地域のためにも残すべき。 ⇒地域のつながり、伝統継続のためにも必要である。今後は学区の見直しも必要ではないか。 ⇒瑞浪の教育に期待することはあるか。統合により教員も減ることになる。</p>
意見④	<p>教職員の仕事量が多いため、教育に費やす時間が足りないのではないかと。 統合しても教育、雑務というように仕事を分けるため、教員数を増やしてはどうか。廃校後の利用はどのようか。 ⇒教員の部活動との折り合いや、負担が増えているのではないかと感ずる。 ⇒議会として言えることは一般質問などで地域の方の意見として発言していくこと。</p>
意見⑤	<p>新しい学校になることで陶町希望ヶ丘の子どもたちの通学距離が3.8キロになる。規定により徒歩だがバスに乗ることはできないか。 ⇒現在、遠距離通学の対象となる児童生徒については、規程に基づき通学費を助成している。</p> <p>統合すると平岩では通学に1時間かかると言われている。 地域と密接になって子どもたちのために、助けになっている子連の維持が難しい。 子供会活動にとって中学生ボランティアは大変必要でありありがたい。子連や中学生ボランティアにもっと光が当たるようにならないか(支援の方法として資金や人の手や知恵) 心配りと予算があればと思う。 ⇒どの地域も少子化により伝統行事ができなくなっている。対策は必要と考える。</p>
意見⑥	<p>廃品回収時の天気による延期の周知方法が、広報無線の利用で動きやすくなった。PTA 活動の中でできてきたことをみんなで提案しながらこれからも行いましょう。</p>

(C) グループ

発言者/ 応答者	
意見①	<p>キャリア教育について 子ども達が社会に出るために何を学ばなければいけないか。 知識やコミュニケーション能力が主で企業の人事担当者から話を聞く機会もあるが会社を辞める新人が多い。その理由として社会において大人と接する機会が少ないのが原因ではないか。子どもと地域のコミュニケーションが不足している。お金をかけない形であれば、保護者が学校において自分の仕事を話すのも良いのではないか。キャリア教育の事前と事後の活動。発表させてそれを他の児童が評価するところまでやるべき。</p> <p>5日ぐらいかけて職場体験ができないか。キャリア教育は中学生より高校生に向けて行うべきではないか。</p> <p>JA陶都で息子が体験し、感想は「つまらなかった。」であったが、経験としては評価できる。</p> <p>⇒キャリア教育は平成17年から開始している。企業へ行くまでの学習と企業体験、事後の発表まで含めて5日間ほどの活動は行っている。 ⇒現状は職業を経験させたいが子どもの安心安全を重視し、子どもに軽微な作業しかさせることができない。</p>
意見②	<p>教育のまちをPRして人口増加を狙えないか。 瑞浪市が消滅可能性都市である。大きく何か変えなければいけない。そのために教育を柱にしてはどうか。英語教育とIT教育を発展させてはどうか。 統廃合の対象となる地域に重点を置いて活動してはどうか。 ⇒移住に関心があるのは教育である。瑞浪高校が今後どうなるのか。 何かに特化した授業が必要ではないか。 ⇒議会としても調査研究を行い、様々な形で提言していきたい。</p>
意見③	<p>部活動の経費は誰が負担すべきか。 部活動の成績が優秀で全国大会へ出場となっても参加費が足りない。市として全額負担を検討できないか。学校の教育の中で使うものは市から出すべきではないか、野球部のボールもPTAが買っている。そもそも学校教育の中の部活動に必要な経費は市が持つべき。全国大会への出場は市にとっても名誉なことで、瑞浪市の宣伝にもなる。現状ではスポーツの推進もできない。 ⇒教育費は総予算に対して1割しか使っていない。今後も学校教育に関係する建設費の割合が高くなっていく。教員住宅もない。 議会は今後も建設費以外の予算をしっかりと確保できているか注視し、委員会等で執行機関に対し発言を行っていく。</p>